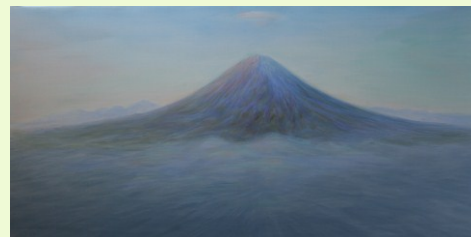


# 富良野・美瑛 北海道風景画館

自然の中に身を置いていると、心洗われる瞬間に出会うことがある。例えば突然に雲間から光芒が差し、麦が強風に荒海の様波立ち、虹が雨あがりの空にかかる。そんな時、私は自分が生きていること、そして人間らしい歓喜につつまれていることを、最も強く認識する。おそらく、宗教的体験に近い感動であろう。私が画にしたいものはそれである。

(奥田修一の言葉)





## ご案内

■期間 4月25日～10月15日(期間中無休)

■開園 9:30～16:00(入館)

■入館料 大人400円、中高生300円

(画家の庭との共通券 大人700円、中高生500円)

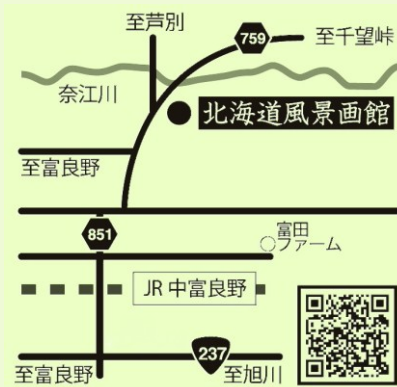
### ■交通

**自家用車** 国道237の富良野と中富良野間の中富良野寄りの信号を、奈江方面道道851に入り約7km。分岐点では風景画館の看板、奈江方面の標識に進む。旧奈江小学校。(カーナビでは富良野風景画館で表示されることがあります。)

### タクシー

中富良野駅より 約2,500円程

富良野駅より 約3,500円程



■富良野画廊 館内に併設。奥田修一の作品が中間マージンのないリーズナブルな価格でお求めいただけます。(資料をご希望の場合は年2回程新作等のご案内を郵送させていただきます。) 無料

■画家の庭 画家 奥田修一の造った庭を公開しています。

### ■お問合せ

北海道風景画館 T/F 0167-44-4477

〒071-0737 北海道空知郡中富良野町奈江(無番地)

hokkaidofukeigakan.jp facebook.com/hokkaidofukeigakan

gakanoniwa.net facebook.com/gakanoniwa

### 北海道風景画館便り より

○ちよっと寂しい様な気もするが、私の人生も坂を上るのではなく坂を下り始めたという気がする。峠を越えた感がある。峠とは一番高い所という印象があるが、一方その辺りの稜線が一番低いところ、越し易い所に作られる。山頂を目指す様な人生は私の柄でなく、その辺りで一番低い峠を私なりに越えたのであろう。これから体力も落ち、気力も失せて行くであろうこの下り坂を、私はある種の安堵を持って期待する。より澄んだ眼差しで風景や人々を見ることが出来るであろう。それは私の画業がこれからだという気も起こさず。人生の意味を私は知らない。只々時を大切に思うだけである。

○大ざっぱに言ってしまうえば、得意がって現代芸術などと言っているものは大抵インチキである。その判断は簡単である。作品に愛と美と命を感じるかどうか。芸術が人の心の不変の領域を扱うものだとすれば、それに過去も現

在も未来もない。「新しい芸術はない。新しい芸術家がいるだけだ。」と言ったのは、エゴン・シーレだったろうか。シーレの芸術は、今も新鮮であり、人が人の心を持つ限り芸術であり続けるだろう。

たいてい作家は流行作家となる事を嫌う。その時代の大衆の味覚に合う様な作品を作る作家は、そのほとんどが忘れ去られる。何故なら大衆が芸術家に追いつき、その芸術を本当の意味で理解するのには時差が生じる。逆の言い方をすれば、時差こそあれ大衆は芸術を判断する能力がある。つまりは大衆一人ひとりが、愛と美と命を大切に思う心を持っていると言う事であり、芸術が人の心を扱うものと言う事でもある。

○私は神を見たことがない。しかし人々が神というものを、つまりは愛を、慎ましく生きる人々の、さりげない心の中に見て来たと思っている。